

2025年度企画展

# 文化財発掘XII

# 文化遺産 模型からみる

パルテノン神殿模型  
(濱田耕作製作)  
1917年

Wednesday, March 11th,  
to Sunday, June 14th, 2026  
\* Closed on Mondays and Tuesdays

# Cultural Heritage Models in

# Cultural

京都大学総合博物館  
THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM

2026年  
3月11日(水) -  
6月14日(日)  
9時30分 - 16時30分(入館は16時まで)  
休館日 月曜日・火曜日(平日・祝日にかかるはず)  
観覧料 一般 400円 / 大学生 300円  
以下の方々は入館無料(証明書類をご提示ください)  
●障害者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名  
●70歳以上または18歳未満の方 / 小学生・中学生・高校生  
●京都府下の大学に在籍する学生 ●京都大学の学生・教職員  
主催: 京都大学総合博物館  
京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・  
人文知連携センター  
後援: 島津製作所 創業記念資料館  
京都府教育委員会  
京都市教育委員会

# 関連講演会「要事前申込」

詳しくは当館ウェブサイトをご参照ください。



## 【第1回】

2026年4月4日土 13時30分～15時30分(開場13時)

●吉井秀夫(京都大学大学院文学研究科)

「なぜ濱田耕作は文化遺産の模型を作成したのか」

●上野祥史(国立歴史民俗博物館)

「ものとひととの距離  
—3D情報は何を変えるか—」

## 【第2回】

2026年5月30日土 13時30分～15時30分(開場13時)

●平田健(東京都教育委員会・(公財)古代学協会)

「考古学・人類学模型標本の歴史と  
その利用実態」

●川勝美早子(島津製作所 創業記念資料館)

「島津製作所標本部の活動について」

※会場はいずれも京都大学総合博物館北館3階講演室

※参加費・無料 ただし博物館観覧料は必要

今回の企画展では、京都大学が所蔵する主要な文化

遺産模型および関連資料を展示して、模型製作の目的

や、その学術的意味を明らかにすることで、模型のもう一つの

資料的価値を再評価したいと思います。



石舞台古墳(奈良県)模型  
1935年



# 京都大学総合博物館

[www.museum.kyoto-u.ac.jp](http://www.museum.kyoto-u.ac.jp)

[アクセス]

●京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分  
●市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

E-mail: [info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp](mailto:info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp)



井寺古墳(熊本県)  
直弧文ステンドグラス



西小山古墳(大阪府)  
眉庇付胄模型

第12回目となる「文化財発掘」では、明治時代末から昭和10年代にかけて製作された模型に焦点を当て、考古資料の記録・研究・普及において果たした役割を解き明かします。日本で最初の考古学講座開講のためロンドン大学に留学した濱田耕作は、模型の役割と意義を学びました。

帰国した濱田はパルテノン神殿の模型を自作し、その後の調査研究と関連して、さまざまな模型を製作・購入しました。また、陳列館が収集した世界各地の考古資料をもとに、島津製作所や上野製作所で作られた模型は、教材として各地に販売されました。

今回の企画展では、京都大学が所蔵する主要な文化遺産模型および関連資料を展示して、模型製作の目的や、その学術的意味を明らかにすることで、模型のもう一つの

資料的価値を再評価したいと思います。